

東北地方太平洋沖地震に係る人的被害・建物被害状況一覧

岩手県 総務部 総合防災室
平成24年5月30日 17:00時点

	死者 (人)	行方不明者(人)		負傷者(人)	家屋倒壊数(棟)
			うち、死亡届の受理件数(件)		
陸前高田市	1,555	230	209	不明	3,341
大船渡市	340	81	68	不明	3,629
釜石市	888	156	154	不明	3,648
大槌町	803	475	445	不明	3,717
山田町	604	153	148	不明	3,167
宮古市	420	97	95	33	4,675
岩泉町	7	0	0	0	200
田野畑村	14	15	14	8	270
普代村	0	1	1	1	0
野田村	38	0	0	19	479
久慈市	2	2	2	10	277
洋野町	0	0	0	0	26
沿岸小計	4,671	1,210	1,136	71	23,429
内陸小計	0	10	4	129	1,448
総計	4,671	1,220	1,140	200	24,877

※1 死者数は県警調査(平成24年5月30日17:00現在・当該市町村で収容した死者数)、行方不明者、行方不明者に関する死亡届の受理件数及び負傷者数は市町村報告による。

注) 行方不明者は、家族等の住民から各市町村へ寄せられた安否不明の人数を計上したものの。

※2 被害の概況については、沿岸部の情報を中心に提供している。

※3 上記には平成23年4月7日の余震の被害も含めている。

※4 家屋倒壊数は住家のみ全壊+半壊数である。(4月12日報告以降)

※5 平成23年6月30日から、行方不明者に関する死亡届の受理件数を計上している。

広 報 資 料
平成24年5月30日
警察庁緊急災害警備本部

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の被害状況と警察措置

災害種別	人的被害					建物被害								道	橋	山	堤	鉄			
	死 者 人	行 方 不 明 人	負傷者		合 計 人	全 壊 戸	半 壊 戸	流 失 戸	全 焼 戸	半 焼 戸	床 上 浸 水 戸	床 下 浸 水 戸	一 部 破 損 戸	非 住 家 被 害 戸	路	梁	崖	崩	決	軌	
			重 傷 人	軽 傷 人											壊	害	れ	壊	道		
北海道	1			3	3		4				329	545	7	469							
東北	青森	3	1	24	85	109	306	701					835	1362	2						
	岩手	4671	1222		200	20189	4688		15	1761	323	8219	4776		30	4	6				
	宮城	9517	1581		4136	84940	147613		135	15474	12852	217875	33607		390	29	51	45	26		
	秋田			4	8	12							3	3	9						
	山形	2		8	21	29	37	80							21		29				
福島	1605	214	20	162	182	20607	68473	77	3	1054	339	155607	1116	187	3	9					
東京	7		20	97	117	15	198	1				4847	1101	295	55	6					
関東	茨城	24	1	33	676	709	2738	24506	31	1772	776	182540	16717		307	41					
	栃木	4		7	127	134	260	2103				70479	295	257	40	2					
	群馬	1		13	25	38		7				17246		36	9						
	埼玉			6	36	42	24	194	1	1		1	1800	33	160						
	千葉	20	2	25	226	251	798	9985	15	157	725	51439	660	2343	55	1					
	神奈川	4		17	117	134		39				445	13	162	1	3					
	新潟				3	3						17	9								
	山梨				2	2						4									
長野				1	1																
静岡			1	2	3						5	13	9								
中部	岐阜													1							
三重				1	1					2			9								
四国	徳島									2	9										
高知				1	1					2	8										
合計	15859	3021		6107	129914	258591		279	20553	15583	711376	60179	4200	133	208	45	29				

※ 未確認情報を含む。
 ※ 4月7日に発生した宮城県沖を震源とする地震、4月11日に発生した福島県浜通りを震源とする地震、4月12日に発生した福島県浜通りを震源とする地震、5月22日に発生した千葉県北東部を震源とする地震、7月25日に発生した福島県沖を震源とする地震、7月31日に発生した福島県沖を震源とする地震、8月12日に発生した福島県沖を震源とする地震、8月19日に発生した福島県沖を震源とする地震、9月10日に発生した茨城県北部を震源とする地震、10月10日に発生した福島県沖を震源とする地震、11月20日に発生した茨城県北部を震源とする地震及び3月1日に発生した茨城県沖を震源とする地震の被害を含む。

【活動部隊】

	岩手県	宮城県	福島県	合計
自身体制	約730人	約850人	約2,270人	約3,840人
特別派遣			約480人	約490人
合計	約730人	約850人	約2,750人	約4,330人

大津波からの避難の実態調査 -何故多くの人々が亡くなったのか？-

東日本大震災津波避難合同調査団（山田町・石巻市担当チーム）

調査方法

被災者 500 人へのインタビューと 800 人へのアンケートを実施
精神的に被災者を傷つけないよう注意した

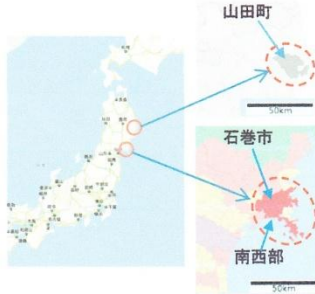
調査地域

岩手県山田町

太平洋に面したリアス式海岸地域にあり、昨年 3 月までの 115 年間に 3 回大きな津波を経験している。今回の津波による死者行方不明者は 743 名、津波浸水域の人口の 10.5% である。震度は 5 強から 5 弱であった。

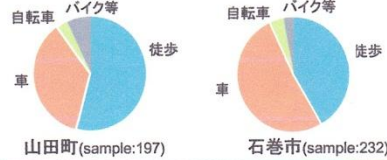
宮城県石巻市

死者行方不明者は 3,859 名、津波浸水域人口の 4.2% である。震度は 6 弱であった。調査の対象を市の南西部とした。同地域は仙台湾に面した平坦地で人口と産業が集中している



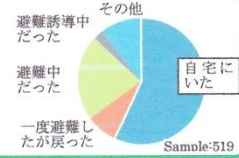
車避難の実態

山田町では 36% が車で避難し、大きな渋滞はなかった。石巻市では 52% が車で避難し、その 47% が渋滞に遭った。しかし、車中の死者数は？



どこで亡くなったか

石巻市の死者の 57% は自宅に亡くなっている。その多くは高齢で徒歩避難が難しかった、あるいは津波に対する警戒心が低かったと思われる。



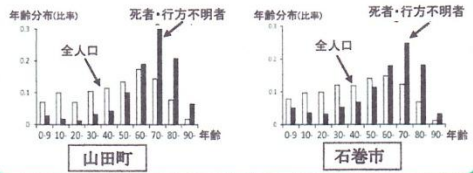
過去の経験にとらわれた人が亡くなった？



丘の麓に住んでいた人は過去の経験から津波が来ないと思い逃げなかった

年齢の影響

高齢者が津波の犠牲になっている。

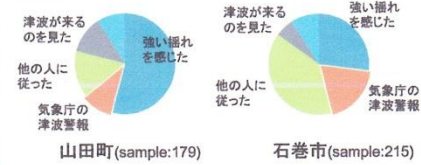


防潮堤をあてにした人が逃げ遅れた？



避難を始めたかきっかけ

強く長い揺れを感じたから、周辺の人の行動や意見に従ったから、が主な動機であり津波警報を聞いたからはむしろ少ない。



東日本大震災津波避難合同調査団（山田町・石巻市担当チーム）（アルファベット順）

阿部雄男	富士常葉大学	森田哲夫	群馬高等工業専門学校
福岡洋也	ニート日本技術開発	村上ひとみ	山口大学
後藤洋三	東京大学地震研究所	中林一樹	明治大学
長谷川庄司	JICA	仲村成貴	日本大学
市古太郎	首都大学東京	小川雄二郎	東京大学生産技術研究所
池田浩敏	富士常葉大学	佐藤誠一	日本工業
織田了雅子	日本ミクニヤ	鈴木 光	消防研究所
紙田和代	ランドブレイン	田中 努	エイト日本技術開発
北浦 勝	金沢大学	宇治田和	ランドブレイン
三上 卓	群馬高等工業専門学校	山本一敏	パシフィックコンサルタンツ
森田博之	地産総合	柳原純夫	農研組

本県に一時津波注意報

沿岸8市町村2500人避難

三陸沖M6.8 普代で震度4



浸水区域に近づかず、避難するよう呼び掛ける消防署員14日午後7時22分、陸前高田市高田町(画像の一部を加工しています)

14日午後6時9分、三陸沖を震源とする地震が発生し、県内では普代村鎮座で震度4を観測した。気象庁は本県、北海道太平洋沿岸東部と中部、青森県太平洋沿岸に津波注意報を発令。本県で津波は観測されず、注意報は午後7時40分に解除された。県内での津波注意報発令は、大船渡で10センチの津波を観測した昨年7月10日以来、東日本大震災から1年が経過した中での発令で沿岸住民らに緊張が走った。

【関連記事30、31面】
盛岡地方気象台によ、難。住民らは高台へ避ると、震源は三陸沖で、難する不安そうな表情。震源の深さは約10キロ。情で、注意報の解除を地震の規模はマグニチュード(M)6.8と推定される。八戸市や、報はなかった。えりも町(北海道)で、三陸鉄道とJR並走の津波を観測し、三陸が運送を一時停止させた。

県総合防災室による本列車が遅れ、JRと大槌町で避難指示、は区間運休を含め4本が運休したが、15日は石、山田、普代の5市町村で避難勧告が出た。D-I(東京)は午後6時12分から同28分まで、も防災無線で注意を呼び、久慈市と九戸郡で携帯電話の発信規制を行って、自主避難を含めて沿岸8市町村で最大約2500人が避難した。



各地の震度と津波の高さ
14日午後6時9分を震源とする地震発生
津波の高さ
10cm
20cm
30cm
40cm
50cm
60cm
70cm
80cm
90cm
100cm
110cm
120cm
130cm
140cm
150cm
160cm
170cm
180cm
190cm
200cm
210cm
220cm
230cm
240cm
250cm
260cm
270cm
280cm
290cm
300cm
310cm
320cm
330cm
340cm
350cm
360cm
370cm
380cm
390cm
400cm
410cm
420cm
430cm
440cm
450cm
460cm
470cm
480cm
490cm
500cm
510cm
520cm
530cm
540cm
550cm
560cm
570cm
580cm
590cm
600cm
610cm
620cm
630cm
640cm
650cm
660cm
670cm
680cm
690cm
700cm
710cm
720cm
730cm
740cm
750cm
760cm
770cm
780cm
790cm
800cm
810cm
820cm
830cm
840cm
850cm
860cm
870cm
880cm
890cm
900cm
910cm
920cm
930cm
940cm
950cm
960cm
970cm
980cm
990cm
1000cm

同気象台によると、今回の震源域(連報値)は東日本大震災の余震域や今回の震源付近域から北北東に外れているが、気象庁は震災の余震の可能性も含め、引き続き調べている。